

「解決したつもり」と「犯人捜し」

vol.66 「自殺者0人の社会を目指して part.6 前編」で「まとめサイト等を筆頭にくさんのメディアが屈辱を取り扱います。〜中略〜これは危険な流れです。」と述べました。現在も変わらず、テレビをつけると、第三者が気兼ねなく正義感を振り回す事が出来るワイドショーネタを取り扱い、ご意見番役のタレントさん達が、仕事等でトラブルを起こした有名人をボコボコに批判しています。ネット上でも変わらず、全く同じ事が起こっています。vol.66,67では、「他者への思いやりの大切さ」について述べましたが、今回は、また少し違った観点で述べます。何かを批判したり、誰かのせいにしたり、それだけで問題を解決したつもりになってしまわないよう気をつけないといけないです。いくら「解決したつもり」がたくさん集まっても、所詮「つもり」は「つもり」です。重要なのは、実際に行動に移して物事を変えていくことであり、具体的な行動で事態を打開していくことです。今日も、やれるだけのことはやった。なんとか明日に繋がっていく。一歩ずつでも進んでいけば、進めていけばいい。という、主体的な考え・行動が大切です。「あいつは駄目だ」「これは駄目だ」と、不毛な犯人捜しをしても、問題は一向に解決しません。問題解決に必要なことを、ひとつひとつ確実に実行に移していくこと。重要なのは、そのことのみです。それ以外はどうでもいい事です。時間の無駄です。これが私たちに求められている生き方です。そんな気概で、私たちは社会をより良くしていく必要があります。∴私の悪い癖で、少し言い過ぎたかも知れませんが、でも「激しく世の中に突きつけていくものが無ければ、議員をやっている意味がない。」と常々感じています。今回は皆さんへの提言という事以上に、自分への改めての決意表明・考え方の再確認という面が強いです。そして、今回も、大上段に構えた難しいテーマであると自認しています。でも、やはり言いたい事はひとつです。みなさんで「生き心地の良い社会」を思い描き、話し合ってください。個々人の思いが集まれば、良い社会、街が形成されると信じています。今日も1日、素敵な日を過ごせますように。気をつけて行ってらっしゃいませ！

平成30年7月25日

増田好秀